

2024年度日本語教育学会秋季大会
一般公開プログラム

外国介護人材の 日本語教育はどうあるべきか —協働への新たな文脈

2024年11月16日(土) 10:00-12:00

姫路市市民会館 大ホール

介護分野で働く外国人が急増するなかで、関係者の協働が課題になっています。本シンポジウムでは、外国介護人材とその雇用者、介護福祉学の研究者など、多角的な視点をもって、この協働の在り方を検討します。今後も増加が見込まれる外国介護人材に対し、日本語教育はどのように社会的な責任を果たしていけばいいのでしょうか。みなさんと一緒に考えたいと思います。

**事前申し込み不要（どなたでもご参加いただけます）参加費無料
プログラム**

外国介護人材を取り巻く制度を「知る」「整理する」-日本語教師に求められる姿勢
二文字屋修氏（NPO法人AHPネットワークス 理事）

介護の日本語教育を取り巻く周辺環境の声を「知る」「考える」-介護福祉学の視点から
天野ゆかり氏（静岡県立大学 講師）

事例報告1「現場の声を聴く」-介護施設で介護の日本語教育に携わる立場から
福嶋裕美子氏（株式会社ドルフィン・エイド 理事長）

事例報告2「現場の声を聴く」-介護施設で介護の日本語教育を受けた立場から
アガ・ブラマンティア・ソビルハック氏（社会福祉法人怡土福祉会 介護老人福祉施設
池辺 介護福祉士）

趣旨説明・進行：神村初美（創価大学 教授）

主催：公益社団法人 日本語教育学会社会啓発委員会
助成：一般社団法人 尚友倶楽部

当日の質問・コメントはオンラインでのみ受け付けま
す。会場はWi-Fi環境がありませんので、
申し訳ありませんがスマートフォン等をご持参ください

お問い合わせ

TEL:03-3262-4291

URL:<http://www.nkg.or.jp/>

E-mail:office@nkg.or.jp 公益社団法人 日本語教育学会

